

PT		24000		
PT		担当部署		
PT		血液		
検査オーダー				
患者同意に関する要求事項		特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→		
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→血液学→		
	3	電子カルテ→指示①→検査→*3.緊急→		
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		<ul style="list-style-type: none"> ・検体採取量の不足では延長傾向を示す。 ・検体採取量の過多では短縮傾向を示す。 ・Ht の高い検体では血漿の割合が減り延長傾向を示す。 ・Ht の低い検体では血漿の割合が増え短縮傾向を示す ・採血困難な場合や組織液が混入した場合は短縮傾向を示す。 ・抗凝固剤と十分混和していない場合は短縮傾向を示す。 		
検査受付時間		緊急対応（24 時間）		
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項		空腹時静脈から採血し、気泡、溶血及び組織トロンボプラスチンの混入を防ぐ。 添付文書より		
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1 全血	2 黒小	3.2%クエン酸 Na	1.8	mL
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
検体搬送条件		室温		
検体受入不可基準		1) 採取容器違いの検体 2) 凝固検体		

	3) 採血量過不足の検体 4) サンプルングできない検体					
保管検体の保存期間	室温・当日中（追加検査については、検査室に要問合せ）					
検査結果・報告						
検査室の所在地	病院棟 3 階 中央検査部					
測定時間	当日中					
生物学的基準範囲	11～13 秒 PT_INR : 0.9～1.1 PT% : 80～120% EX 共通 CL1144 : 「臨床検査データブック 2021-2022」					
臨床判断値	設定なし					
基準値					単位	sec % なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	PT(INR) 4 以上				
	低値	設定なし				
生理的変動要因	妊娠により短縮傾向を示す。					
臨床的意義	PT は、外因系凝固経路に関わる第 I、II、V、VII、X 因子のすべての異常を検出可能である。外因系に関わる因子の中で第 II、VII、X 因子はビタミン K 依存性凝固因子である。ビタミン K 依存性凝固因子は II、VII、IX、X 因子であり、ビタミン K が欠乏すると、リン脂質の結合部位である Gla domain が不完全となり、PIVKA が合成され、正常な II、VII、IX、X 因子が合成されない。 EX 共通 CL1084 : 「三輪血液病学 2006」1980					